

# 第192回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成24年3月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,574	-0.92	-0.55	4,077	0.46	-0.36
東部地区	14,248	-0.48	-0.73	5,666	-0.56	-0.80
西部地区	10,551	-0.89	-0.34	3,999	-0.09	-0.04
駅南地区	6,237	-0.60	-0.36	2,680	0.41	-0.18
半田地区	3,617	0.24	-0.08	1,370	0.73	-0.36
横山地区	5,637	-0.23	-0.51	1,897	1.17	-0.10
茨目・田尻地区	6,985	0.24	-0.14	2,392	1.57	0.33
荒浜地区	5,021	-1.64	-0.03	2,010	-0.59	0.14
その他地区	20,088	-1.82	-0.51	7,166	0.09	-0.01
西山町地区	6,183	-0.46	-0.62	2,152	1.55	0.13
高柳町地区	1,799	-3.22	-0.44	819	-1.56	-0.12
柏崎市計	89,940	-0.91	-0.45	34,228	0.22	-0.18
刈羽村	4,851	-0.39	-0.12	1,569	0.38	0.19
小国地区（長岡市）	6,104	-1.89	-0.32	2,109	-0.33	-0.09
出雲崎町	5,030	-1.37	-0.23	1,803	0.05	0.05
合計	105,925	-0.96	-0.42	39,709	0.19	-0.15

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で826人、0.91％、刈羽村で19人、0.39％、小国地区（長岡市）で118人、1.89％、出雲崎町で70人、1.37％とそれぞれ減少し、全体では1,033人、0.96％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で413人、0.45％、刈羽村で6人、0.12パーセント、小国地区で20人、0.32％、出雲崎町で12人、0.23％減少したため、全体では451人、0.42％減少している。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で7世帯、0.33％、減少したが、柏崎市で78世帯、0.22％、刈羽村で6世帯、0.38％、出雲崎町で1世帯、0.05％増加したことから、全体では78世帯、0.19％の増加となった。また、前月比においては、刈羽村で3世帯、0.19％、出雲崎町で1世帯、0.05％増加したが、柏崎市で63世帯、0.18％、小国地区で2世帯、0.09％減少した結果、全体では61世帯、0.15％減少している。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,610		21.50		4.81	
月間有効求職者	2,217		-7.50		9.15	
月間有効求人倍率	0.73	0.83	0.18*	0.16*	-0.03*	0.01*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,610人と前年同月比で285人、21.50％の増加となり、前月比でも74人、4.81％増加している。

月間有効求職者数は、2,217人と前年同月比で180人、7.50％減少し、前月比では186人、9.15％増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.73倍と前年同月比で0.18ポイント上回り、前月比では0.03ポイント下回っている。なお、県平均0.83倍と比べると0.10ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が636人と前年同月比で51人、8.71％の増加、月間新規求職者数が677人と前年同月比で102人、13.10％減少した結果、月間新規求人倍率は0.94倍となり、前年同月の0.75倍に比べて0.19ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当月の申請			平成23年度累計	
	件数	前年同月比	前月比	件数	前年同月比
一般住宅（併用）	25	6	6	357	110
共同住宅	0	0	-1	33	28
事務所	0	0	-1	5	0
作業所・工場	0	-2	0	15	3
営業建物	1	-1	1	19	5
公共建物	2	1	2	3	1
その他	7	1	3	79	2
合計	35	5	10	511	149

（資料出所：柏崎市建築住宅課）

建築確認申請の状況については、平成23年3月までは市受付分のみの集計でしたが、平成23年4月からは民間確認検査機関の受付件数を含む集計を掲載しております。なお、対前年同月比は平成24年3月分までは市受付分との対比となっております。当月の申請合計は35件と前年同月比で5件増加し、前月比では10件の増加となっている。なお、工種全体の申請内容は、新築が31件となっており、また一般住宅（併用）25件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が9件（うち新築7件）、市外施工業者が16件（うち新築15件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契約口数			使用量		
	口数	前年同月比	前月比	使用量	前年同月比	前月比
電灯	65,579	0.60	0.08	26,578	-0.44	-7.85
電力	10,590	-2.37	-0.34	41,484	2.15	-4.29

（資料出所：東北電力㈱柏崎営業所）

〔電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。〕

契約口数は、電灯が前年同月比で396口、0.60%増加し、前月比でも、57口、0.08%増加している。一方、電力においては、前年同月比で258口、2.37%減少し、前月比でも37口、0.34%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で118kwh、0.44%減少し、前月比でも、2,267kwh、7.85%減少している。一方、電力においては、前年同月比で874kwh、2.15%増加したが、前月比では、1,860kwh、4.29%の減少となった。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガス供給量			水道給水量		
	供給量	前年同月比	前月比	給水量	前年同月比	前月比
家庭用	1,704,324	5.14	-5.44	634,301	4.33	-5.36
営業用	313,566	6.10	-10.40	113,417	4.21	6.33
工場用	808,266	-4.38	-9.96	146,019	10.14	5.34
官公学校用	670,820	-1.59	-14.89	77,304	0.83	-1.24
その他				60	160.86	172.72
合計	3,496,976	1.55	-8.89	971,101	4.86	-2.28

（資料出所：柏崎市ガス水道局）

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で53,558m<sup>3</sup>、1.55%増加したが、前月比では341,375m<sup>3</sup>、8.89%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、工場用、官公学校用で減少し、前月比では、すべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で45,059m<sup>3</sup>、4.86%の増加となったが、前月比では22,713m<sup>3</sup>、2.28%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、すべての用途で増加しているが前月比では家庭用、官公学校用、で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	85,013	7.44	18.28	87,439	5.86	18.33
西 山	37,907	5.28	20.08	34,460	3.78	22.56
米 山	16,952	16.13	42.22	16,258	16.88	34.56
合 計	139,872	7.82	21.24	138,157	6.51	21.09

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で10,150台、7.82%増加しており、前月比でも24,512台、21.24%増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で8,453台、6.51%増加し、前月比で24,068台、21.09%増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比では、すべてのインターで増加、前月比でも、入口・出口ともにすべてのインターで増加している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	371,053	1.54	4.11	150,884	0.03	1.76
平 残	358,501	-1.19	0.68	148,585	0.19	0.58

預金は、末残が前年同月比で5,646百万円、1.54%増加し、前月比でも、14,650百万円、4.11%増加している。また、平残においては、前年同月比で4,336百万円、1.19%減少したが、前月比では2,425百万円、0.68%増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で53百万円、0.03%の増加となり、前月比でも2,610百万円、1.76%増加している。平残においては、前年同月比で295百万円、0.19%増加し、前月比でも、858百万円、0.58%の増加となった。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	23,007	-22.58	-15.12
交 換 金 額	16,352	-28.74	-22.61
不 渡 り 手 形 枚 数	10	0.00	-77.27
不 渡 り 手 形 金 額	17	54.25	-75.81

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で6,711枚、22.58%減少し、前月比では4,099枚、15.12%減少している。また、交換金額においては前年同月比で6,598百万円、28.74%減少しており、前月比では4,778百万円、22.61%の減少となっている。なお、不渡手形は10枚、17百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産7件（前年同月12件、前月10件）、負債総額8億円（同56億円、同113億円）となっている。地区別では、新潟市が1件、佐渡市が2件、村上市が1件、長岡市が2件、上越市が1件発生している。業種別は、建設業が1件、卸売業2件、小売業1件、サービス業2件、不動産が1件となっており、倒産原因は、すべて販売不振となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で5件の減少となり、負債総額は48億円の減少となっている。前月比では件数は3件減少し、負債総額は105億円減少している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、震災以降緩やかに持ち直してきているものの、本格的な景気回復への見通しは不透明な状態が続いている。今月の県内企業倒産7件は、販売不振によるものであり売上等が伸び悩む中、今後の倒産動向について引き続き注視していく必要があるものと思われる。